



平成 27 年 4 月 1 日

報道各位

株式会社 たち吉

再生へ向け、経営刷新 京都本店復活へ

株式会社 たち吉（本社 京都市下京区、代表取締役社長 渡邊 信夫）は本日より、新しい経営陣のもと、再生への第一歩を踏み出します。新経営陣は、流通業界出身者 3 名と内部昇格者 1 名、事業再生ファンド ニューホライズンキャピタル株式会社からの社外取締役 4 名（安東 泰志代表以下 3 名）の 8 名で構成されます。

263 年間、お客さまに愛されてきた「たち吉」の本来のあるべき姿を見つめ直し、いま一度、たち吉の経営理念とブランドを再定義した上で、お客さまに驚きと喜びを提供できる会社に生まれ変わります。

これこそがたち吉であるという器を、世代を超えて愛される商品をお届けします。同時にたち吉らしい店づくりを進め、京都に路面店の本店の復活も計画しております。

たち吉の「らしさ」を再構築し、全社員が同じ方向へ進むために、先月、ブランド委員会（社員 6 名、アドバイザー 會澤 浩氏）を立ち上げ、ブランディング作業に着手しました。

新社長の渡邊 信夫は「260 余年の歴史をもつたち吉をこれからも承継していくことが私の使命だと心得ています。一時的に傷ついたとはいえ、たち吉の名前は、まだまだ日本人の心の中に息づいています。お客さま目線を大切に、日本人の琴線に触れる商品開発と世界観を再構築していきたい」と抱負を述べています。

社外取締役で事業再生委員会委員長の安東 泰志は「たち吉の再生は、日本の伝統文化を守り、全国の数多くの窯元を守ることにつながるもので、大変意義のあるものと考えます。たち吉ブランドを再構築し、強化していくことが、私の再生計画の中核です。また販路について言えば、海外市場へ向けたたち吉ブランドの国際化と WEB による新展開を考えています。4 年後から 6 年後には、再生過程を終えて成長軌道に乗せて参る所存です」と述べています。

以上

【本リリースに関する問い合わせ先】

広報担当（IFC）：くさもと 蒼下、たけえ 竹江 03（5532）8921、メール：h-takee@ifcpr.co.jp



平成 27 年 4 月 1 日

報道各位

株式会社 たち吉

役員人事

株式会社 たち吉（本社 京都市下京区、代表取締役社長 渡邊 信夫）は、このたび役員人事を決定しましたので、下記の通りお知らせします。

記

【新任】

【取締役】

渡邊 信夫	代表取締役社長
品田 裕司	常務取締役 執行役員
井上 慎一郎	常務取締役 執行役員
林 寛	常務取締役 執行役員

【社外取締役】

安東 泰志	事業再生委員会委員長
畠山 直子	ブランド委員会事務局長
佐藤 隆司	—
小島 亘	—

【監査役】

志茂坂 康史	—
長瀬 裕介	—

以上